

6) 診療科別 主要手術別 症例数トップ5 【2016年度】

2016年度<2016年4月1日~2017年3月31日退院患者>

診療科名称	Kコード	Kコード名称(部位)	症例数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢
外科	K7211	内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術(長径2センチメートル未満)	83	0.34	1.29	0.00%	67.42
	K6335	ヘルニア手術(鼠径ヘルニア)	44	1.70	3.20	0.00%	71.43
	K634	腹腔鏡下鼠径ヘルニア手術(両側)	40	1.00	2.08	0.00%	61.20
	K672-2	腹腔鏡下胆嚢摘出術	39	1.97	3.36	0.00%	55.69
	K719-3	腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術	24	4.71	7.92	0.00%	68.58

<解説>

外科主要手術トップは、2015年度に引き続き内視鏡的大腸ポリープ切除術の83症例でした。鼠径ヘルニア手術は84症例でその内、腹腔鏡下手術は40症例と、2015年度と比較すると増加しています。結腸悪性腫瘍の手術においては、腫瘍が特に大きい場合や穿孔がある場合などを除き、腹腔鏡補助下手術の適応としています。また、術後の絶食期間を短縮し、早期退院を目指すERAS(Enhanced Recovery After Surgery)プログラムも実践しております。

診療科名称	Kコード	Kコード名称(部位)	症例数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢
整形外科	K0461	骨折観血的手術(上腕)(大腿)	69	4.87	57.04	0.00%	80.78
	K0811	人工骨頭挿入術(股)	52	5.33	60.63	9.62%	81.33
	K0462	骨折観血的手術(前腕)(下腿)	40	3.13	19.28	0.00%	61.80
	K0821	人工関節置換術(膝)(股)	25	1.96	54.16	0.00%	70.40
	K0483	骨内異物(挿入物を含む。)除去術(前腕)(下腿)	25	1.36	4.60	0.00%	55.84

<解説>

整形外科の主要手術においては、大腿骨近位部骨折の手術症例が多く、上位1位2位を占めています。K0461骨折観血的手術の中で大腿に対する手術のみにすると59症例で、平均年齢は86.24歳、K0811人工骨頭挿入術(股)でも平均年齢が81.33歳と、高齢であることがわかります。高齢者の骨折が増加している現在、手術が必要と考えられ、全身状態がよければ可能な限り早く手術を行い、早期社会復帰を目指し、急性期治療後に継続してリハビリテーションを実施するために、回復期リハビリテーション病棟へ転棟することが多く、平均術後日数が長めです。

診療科名称	Kコード	Kコード名称(部位)	症例数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢
脳神経外科	K164-2	慢性硬膜下血腫穿孔洗浄術	11	1.64	17.82	0.00%	81.45
	K664	胃瘻造設術(経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。)	-	-	-	-	-

<解説>

慢性硬膜下血腫とは、軽微な頭部外傷による微量の出血などが原因で、被膜を伴う血腫が硬膜下に形成され、徐々に拡大していきます。通常は3週間~数カ月かけて血腫がつくられるため、受傷後は無症状や頭痛程度の症状しかなく気付かない場合もあります。また、アルコール多飲者や高齢者に多く発症するとされています。「慢性硬膜下血腫」に対する血腫除去術は、当院では無剃毛、頭皮は3~4mmの小切開、頭蓋骨には2~3mmの穴で済む、穿刺術を可能な限り行っています。

診療科名称	Kコード	Kコード名称(部位)	症例数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢
内科	K7211	内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術(長径2センチメートル未満)	33	0.00	1.18	0.00%	57.76
	K688	内視鏡的胆道ステント留置術	22	4.64	21.32	0.00%	80.32
	K654	内視鏡的消化管止血術	12	3.67	25.00	0.00%	67.83
	K664	胃瘻造設術(経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。)	10	111.40	48.40	40.00%	79.50
	K6871	内視鏡的乳頭切開術(乳頭括約筋切開のもの)	10	1.70	15.60	0.00%	56.60

<解説>

内視鏡的大腸ポリープ切除術が33症例で、外科と合わせると116症例と最も多くなっています。また、胆汁の流れが悪い部分にチューブを設置し、胆汁の流れを元通りにする内視鏡的ステント留置術が22症例と多くなっています。消化器科の医師増員により、内視鏡を使用した主要手術のバリエーションと症例数が増加しました。2017年度には内視鏡室が3部屋へと増設し、消化器内視鏡検査と治療体制を充実させ、患者さんの積極的な受入れを実施しています。

診療科名称	Kコード	Kコード名称(部位)	症例数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢
眼科	K2821	水晶体再建術(眼内レンズを挿入する場合)(その他のもの)	61	0.00	1.00	0.00%	74.64

<解説>

白内障に対する水晶体再建術は61症例で、平均年齢76.64歳、54歳~93歳の幅広い患者年齢層でした。また、当院の白内障手術は1泊2日の入院手術としており、手術翌日に診察してからご退院いただいています。

<集計方法と定義>

- ◆対象患者は一般病棟に1回以上入院した、医科レセプトのみの患者です。
- ◆入院後24時間以内に死亡した患者さんは対象外です。
- ◆症例数が10未満の数値の場合は、-(ハイフン)で表示しています。
- ◆同一手術において複数の手術手技を行った場合、主たるもののみをカウントしています。
- ◆輸血関連(K920\$)は除外しています。
- ◆創傷処理、皮膚切開術、非観血的整復術、徒手整復術、軽微な手術(一部)およびすべての加算は除外しています。
- ◆手術日数は、集計対象となった日から主たる手術の手術日まで(手術日当日は含まない)の日数、術後日数は主たる手術の手術日から(手術日当日は含まない)集計対象となった終了日までです。